

# 事務事業チェックシート

事務事業No **106** 事業名 **わかやまの底力・市民提案実施事業（市民が公益的の事業を企画提案し、行政と協働で実施）**

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	5	地域コミュニティの充実
施策	1	地域コミュニティの充実
基本方針	3	市民公益活動の促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		市民生活費	
	目		NPOボランティア推進費	
	大事業		NPO・ボランティア推進事業	
事項		わかやまの底力・市民提案実施事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H17	～	
事業実施の根拠法令	わかやまの底力・市民提案実施事業選考委員会条例及び実施要綱		
関連個別計画	協働推進計画		
担当課・担当課長 (Tel)	市民協働推進課	露野 恵司 (402-1213)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	対象：和歌山市を中心に活動しているNPOやボランティア団体等の市民団体 自発的に活動している市民グループからの企画提案を募集し、行政と協働で実施することにより、市が抱える社会的課題や地域課題の解決を目指す。	公益的な事業について、市民グループから事業提案を募集し、選考委員会で採択された事業に対して、市は実施に必要な経費の一部、又は全部を交付金として助成するほか必要な支援を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	7,617	7,314	7,627	5,971	7,627		7,627		7,627		
	伸び率 (%)	-	-	0.1%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	13,166	13,428	13,216	10,979	10,979		10,979		10,979	
		非常勤職員	0	0	894	675	675		675		675	
		小計	13,166	13,428	14,110	11,654	11,654		11,654		11,654	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源（税等）	7,617	7,314	7,627	5,971	7,627		7,627		7,627		
	所要人数	常勤職員	1.77	1.77	1.77	1.48	1.48		1.48		1.48	
		非常勤職員	0.00	0.00	0.38	0.38	0.38		0.38		0.38	
主な予算内訳	市民提案実施事業交付金7,350千円、附属機関委員報酬210千円 等											

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	メディアを通じた広報手段					年度目標値	5	6	6	6	6
						実績値	5	6			
	単位	種類	全体目標値	6	全体目標達成度	100.0%	100.0%				
	協働懇談会の開催回数					年度目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	1			
単位	回	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	100.0%					
成果指標	提案事業の数					年度目標値	30	30	30	30	30
						実績値	27	19			
	単位	件	全体目標値	30	全体目標達成度	90.0%	63.3%				
	事業実施後の協働事業に対する満足度					年度目標値	100	100	100	100	100
実績値						84.61	95				
単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	95.0%	84.6%	95.0%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>毎年、観光振興や子育て支援、まちおこし等に関する様々な試みが生まれていて、和歌山市を活気づける有意義な事業だと考えるため継続は必要である。補助金の予算額(735万円)は中核市の中でも比較的大きな額ではあるが、市民目線の豊かな発想の事業が今後も多く出てくると思われるので、引き続き内容の充実を図っていきたい。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>市民グループからの企画提案数を増やす環境づくり 例)・ポスターやチラシでの周知の徹底 ・テーマを多く出してもらうための各課への働きかけ ・各課からのテーマ募集期間、団体からの企画提案の募集期間の検討</p>